

## 海外視察 報告書

自由民主党大阪市会議員団 西川ひろじ

平成26年1月26日～29日まで、議会関係行事の日程の合間を縫うように、四年ぶりの大阪市会議員海外視察団による海外視察が実施されました。

「海外視察実施要綱」にもあるとおり、時代に即応した国際的な知識・資質を涵養して、本市の新しいまちづくりと市民生活の向上など、市政課題の解決に資するものとする事は、大変重要であり、機会を逃さず必ず実施すべきものであると考えます。

今回訪れましたシンガポール共和国は、1965年にマレーシアから独立して以来、安定した長期政権の強みを発揮し、貿易と観光そして教育に特化した国策を展開し、めざましい発展を成し遂げておられる素晴らしい都市国家であります。

何せ、建国から50年間の歴代首相は僅かに三人で、現首相のリー・シェンロン氏は初代首相の息子さんですから将来を見据えた長期にわたる計画を着実に実行なさっておられます。

毎年のように国のトップが入れ替わってしまい、その都度政策が右往左往するようでは、結果として国民の幸せはないと思います。

我が大阪市も、落ち着いた・地に足のついた、真に市民のための大阪市政を忘れてはならないと、帰りの飛行機内でしみじみとそして深く思いました。



GO GREEN

緑の国土を目指す

シンガポール

完全分別のゴミ箱



到着したチャンギ空港は、旧正月と重なった日程のこともあり、説明を聴取することはできませんでしたが、流石に年間1700万人の来訪者を目指すシンガポールの表玄関らしく、広々としてとても清潔で、建物の中なのに緑いっぱいの本当にさわやかな国際空港でした。

シンガポールは「ガム」を持ち込むことは禁止されていますが、一事が万事で「きれいな街を保つのだ」との確固たる方針が見てとれます。東南アジアによく見られる爆竹でのお祝いも禁止されて久しく、誠に静かな清々しいお正月でありました。

視察の期間中、雨季であるのに一度も傘を使うことなくそれほどの汗もかかず爽やかであったことは、たまたまのお天気の所為ではなく、あふれんばかりの緑豊かな街並みを創るんだとの政策のお陰であると思います。ちなみに、目指すは家の中に庭がある街ではなく庭の中に家がある街並みで、樹齢60年以上の樹を切ると大罪だそうです。

チャンギ空港は、現在三つのターミナルがありますがローコスト航空の為に第四期計画を三年後に完成させ、そしてすでに第五期の計画も出来上がっているそうです。

財団法人自治体国際化協会シンガポール事務所、この度の視察について最もご尽力いただき、またお世話になったのがこのクレアです。クレアは東京に本部を置き、シンガポールのほかニューヨーク・ロンドン・パリ・ソウル・シドニーそして北京にも海外事務所を持ち、海外活動の全般、経済活動・観光誘致・地域間の交流・専門家の派遣・提携交流の支援・調査活動やいろいろな情報発信まで、日本各地域と海外とのネットワークの充実に大いに活躍されておられます。

我々の視察にも相手方との事前打ち合わせに大変ご尽力いただいたと聞いており、実際最後の視察場所にまでご同行いただき、細やかなご配慮を賜りました。シンガポールのさまざまな情報はもとより、視察の主な目的であるＩＲや教育ＩＣＴについての概要をご説明いただいたお陰でより効果的な視察となったと思っております。

シンガポール事務所の体制は、所長が総務省から派遣、次長が福岡県から派遣、調査役が埼玉県・兵庫県から派遣、所長補佐が岩手県・東京都・佐賀県・熊本県・宮崎県・鹿児島県・新潟市・田原市・堺市・北九州市・長崎市・江東区・大田区から派遣、駐在員は山形県・長野県・熊本県からの派遣となっておりますが、大阪市からの派遣職員がいないことは残念至極であり、是非とも事業参加と今後ますますのご発展をお祈り申し上げます。

テレビのコマーシャルでよく見たあの屋上にプールのあるホテル「マリーナベイ・サンズ」はさすがにすごい。ホテル・ショッピングスペース・レストラン街・エンターテインメント・ミュージアム・カジノそれとMICE事業と、見学するだけで大変で、まさに観光都市シンガポールを牽引する企業です。

マリーナベイ・サンズの社長の説明も、とにかく規模が大きく雄大そのものでありました。世界三大カジノ市場すべてに設置する唯一の企業であること、前記したMICE事業を世界で最も成功させたこと、ホテルの稼働率はなんと99.8%で、それも旧来の質素な客室で格安というものではなく全室スイートルームというからものすごい。

質疑応答は、やはりカジノがもたらす経済効果とその陰に隠れている犯罪やギャンブル依存症など負の部分に集中しましたが、マイナス部分は研究し尽くされて十分に対策が用意してあり大きな問題ではないとのことで、5000億円の投資と毎年生み出される経済効果を前面に押し出す説明でありました。

市民の皆さんと共に歩む私どものところには、ギャンブル・パチンコが止められずに夫婦別れとなりそうだとか、犯罪となるような事案の相談もあり、依存症や治安の問題は簡単なものではないと考えておりますが、質問の最後にカジノのないMICE事業はあり得るかと問いますと、3%のスペースで全体の80%の売り上げを作

り出すところを失くしてどうするのか「金勘定の出来ない者はもの  
の役に立たない」と言われたような気がしました。しっかりと議論  
を尽くしながらも結論は早く出さないといけないと思います。

ご説明には、文楽の画像など、大阪を十分に意識していただき  
ており、心から感謝申し上げたいと思います。



マリーナベイ・サンズ

社長さんから説明聴取



大阪ベイエリア  
IIRのイメージ

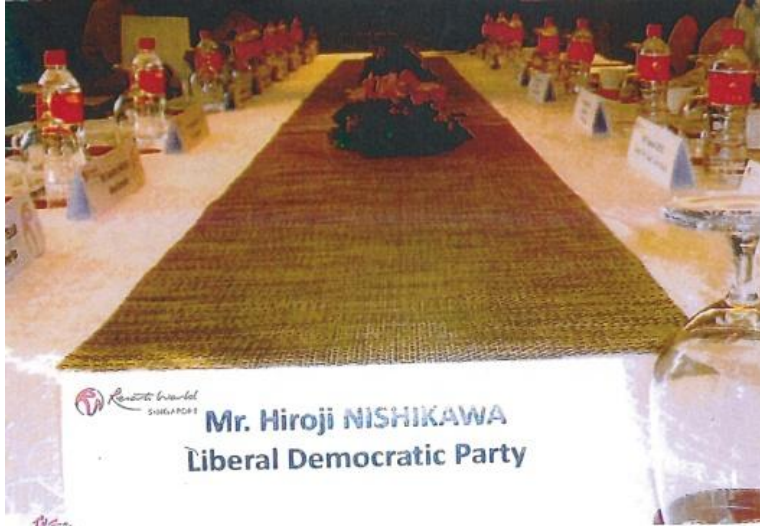
シンガポールにおけるもう一つの統合型リゾート（IR）開発であるセントーサ島にあるリゾート・ワールド・セントーサにも視察に参りました。ゴルフ場にあるカートのようなもので場内を見学した後、運営会社であるゲンティン・シンガポールの社長さんからご説明をいただきました。

東京ドーム10個分15万坪の敷地に5800億円を投入し、着工から僅34カ月で開業されたことに加え、本島からの橋も架けられたそうでインフラの整備までなされたことに驚きました。

オーストラリア・フィリピン・英国など48カ所に事業展開され、多数のクルーズ船（大型客船）を所有し、世界ベストリゾート賞を3年連続受賞していることなど、こちらも大きいスケールのお話でした。

日本の国会議員は、経済効果の点から「沖縄」と言っているが、出資するほうから見ると、歴史・文化のある京都・奈良・神戸に近い「大阪」が魅力的であり、おいしい食事や温泉も大好きとのことであり、5000億円の投資を勝ち取るチャンスですよとのご意見でした。

尚、ゲンティン社から東日本大震災の被災地へ2000万円の義援金をいただいておりますこと、視察団全員で厚くお礼申しあげて参りました。



名札つきのおもてなし





学校教育におけるICTの活用については、シンガポール教育省からの説明聴取をはじめ、ナンヤン女子中高一貫校とキャンベラ小学校へも参りました。

ICTを教育の場へと導入する必要性とは何か、その点からよく考えて学校設備から始まり、子どもたちへの配慮、保護者とのコミュニケーションのあり方、そして最も大切な教える側のあり方など用意周到な教育プログラムが必要であることを改めて示していただきました。

お示しいただいた点は当り前のことですが、理想とは随分かけ離れているのが本市の現状であると思います。例えば、子どもたちが一斉に機器の電源を入れた途端に停電してしまうのではないかと心配になるのが今の本市の学校ではないでしょうか。

本市の教育委員会もシンガポールを訪れ、教育ICTの活用についてはしっかりと学んでいると聞いています。報告書も拝見いたしました。その本質をよく理解し、何を成すべきか認識しているものと思います。シンガポールは国家予算の20%も教育費に使っているからなどと泣き言を言わず、私たちに出来ることを着実に21世紀を担う子どもたちの為に実行していただきたいと思っています。



超名門  
ナンヤン女子中高一貫校



最初に視察させていただいた「ナンヤン女子中高一貫校」はシンガポールの大統領夫人やお孫さんも卒業生に名を連ねる超の付く名門校で、すれ違う生徒さんのあいさつも清々しく、将来はシンガポールを代表して世界に羽ばたいていく子どもたちだと想像しています。

教育ICTについて、子どもたちは大丈夫。しっかりと説いてから聞かせればその本質をよく理解し、驚く速さで順応してくれます。問題は教える側の先生にあって、チョーク一本で愛情を込めて教える熱血先生こそが正しいと信じておられる先生は意外に多く、また頑固で説得に苦勞したとの説明でした。1987年からさまざまな取り組みを行って来られて、現在第三段階のマスタープランを推し進めていますが、困りものの熱血先生は極少数となったそうです。教育ICTのキーポイント、それは先生、子どもたちの為に意識改革をお願い申し上げます。

二校目はナンヤン女子中高一貫校とは対照的に、極普通の小学校ですと校長先生からのお話でした。この校長先生はICT戦略立案当初からプロジェクトチームに参加しておられた方で苦勞話を交えて教育ICTの課題などをこと細かくご説明いただきました。

シンガポールの新学年は一月二日から始まりますが、教育ICTを始めますと一月に宣言してから実際にiPadを子どもたちの手元に配るのは七月になるそうで、その間子どもたちはもちろん保護

者にも何度も何度も説明をし、保護者負担でiPadを用意していただくそうです。(家庭の事情で無理な方は学校で用意)

教育ICTこそが子どもたちにとって、社会に出たときの重要なスキルとなること、まさしく人生のスキルアップにつながることを懇々と諭すがごとく説くことが重要であるとの熱弁でありました。心構えのこと、校舎・設備の構えのこと、本市もしっかりと準備を整えて取り組んでもらいたいと思います。



ICTに詳しい校長先生

使いこなす小学生



視察の最後は、世界第二位のコンテナ取扱量を誇るシンガポール港について勉強して参りました。

単に我が国や大阪港と取扱量を比べることは、地理的優位性など如何ともしがたいものがあり意味がないと考えますが、アジアと欧州を結ぶ船が必ず通る貿易航路の要衝に位置し、地震や台風などの自然災害をほとんど受けることもなく、高い山のない国土には河川もなく浚渫の必要もない最良の港、この強みを生かし早い段階から国をあげて港湾整備事業に力を注いだことはまさに先見の明と言えらると思います。

それを引き継ぎより発展させたのが、今回訪れたP S Aコーポレーションであります。厳しい国際競争に打ち勝つために実施されていることは、24時間営業と完全オートメーションを目指して日々努力を尽くすことと言い切るご説明は説得力十分で、例えばターミナル入口にはゲートがあり荷物を搬入・搬出するトラックが通過する時にセキュリティチェックを受けますが、その際ナンバープレート・コンテナ番号・重さを確認する作業に要する時間は僅か25秒だそうです。そして同時にその情報はクレーンオペレーターに伝えられ、トラックはどのヤードに行くか案内されます。

ターミナルに居並ぶクレーンを見上げながらの視察は、その規模の大きさにため息の連続でしたが、トラック同様コンテナ船にも事前に積み荷の内容を把握しているオペレーターからどこに着岸せよ

と指示が出て、一番効率が良いターミナル運営がなされており、本市においても大阪港・阪神港の発展のため、大いにP S Aに学んで頑張っていたきたいと思います。

